

平成 24 年度第 2 回福岡市立学校環境衛生懇話会 議事要旨

[日時・場所] 平成 25 年 2 月 6 日(水)19:00～20:30 市役所本庁舎 1505 会議室

[出席委員] 須貝委員(福岡大学教授), 元兼委員(九州大学大学院准教授), 元山委員(医師会理事), 東委員(薬剤師会理事), 日高委員(PTA 協議会会長), 渡部委員(中学校校長会役員), 白石委員(養護教諭研究会役員), 森委員(教育環境部長), 桑田委員(教育支援部長), 橋爪委員(指導部長)
(事務局) 大塚, 平田, 手嶋

[次第等]

- 1 教育委員会挨拶 事務局挨拶
- 2 委員紹介 前回欠席委員の自己紹介
- 3 議事等要旨

(1) 資料説明 事務局より資料内容を説明

(2) 議事要旨(●は事務局)

- 教室のオープン化は風通しがよくなり, 暑さ対策の面ではいいのではないかな。
- オープン化はいい面悪い面あると思うが, 外からも教室内が見渡せるため, いじめ防止等の効果もあると思われる。
- 夜間に出来るだけ換気し, 建物を冷やすことが大事だ。また, 最上階への対応が必要だ。屋上に断熱材を敷くやり方もあるが, 太陽光パネルもよいのでは。
- 電気の買取り制度を利用した, 校舎屋上への太陽光パネルの設置が増えてきている。
- 断熱は, 全面するよりも, 屋上と西側だけをしたほうが, 暑い空気が外に逃げる。
- 暑さ対策を精神論で済ますのは適切ではない。こどもの暑さへの耐性については, 我々自身が快適な環境に慣れ, 暑さ寒さに弱くなっていると感じており, こどもも同様ではないか。
- アレルギーを持つこどもの増加については, カビ対策をしっかりやっていけばよいと思う。
- すべての教室で温度調査をすべきではないか。対策が必要な教室を個別に考える必要がある。
- すべての教室で温度調査するのは難しいが, 一つの学校で複数の教室を測定することや, 一つの教室内でも複数の箇所を測定するなど, 調査のやり方を検討したい。
- 夏休みを延長し, その分を土曜授業に振り替えるという手法については, 現在社会的に週休 2 日制が根付いているなかで, 家庭等の協力も不可欠であることから, 実施は難しいのでは。
- 朝のうちは比較的湿度が低いことから, 一限目の開始時間を早め, その分早く下校させるというのも考えてみた。
- 中学校では部活があるため, 子供たちは大体 7 時くらいから学校に来ている。単純に始業時間を早めたとして, その分の部活時間の確保をどうするか考えると, 中学校では難しいのでは。
- 手法についてはやれるものを試行的にやってみたいと考えている。また, エアコンのランニングコストや運用がどうなっているか, エアコン既設校も見ていく必要がある。
- エアコン既設校も実態を確認し, データ収集したい。また, 前回から換気が重要との話が出ており, 夜間換気など施設上可能か調べたい。
- カビ対策の面からも, 換気は重要だ。
- あとはそれぞれの手法を実施した場合のコストなどを出せばよいのではないかな。
- 今回の議論で出た手法等についてもコストを出してみたい。次回は 5 月の開催を予定している。温度調査のやり方や試行等について案をお示しし, ご意見を伺いたい。